

KM-11 の結果概要 地区名:KS3 鷲川 2096 林班い小班 7月14日調査実施

林相	地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
針広混交林	緩斜面	南	1	2	2010年 3.0	累積 3.3	シカ道
毎木	本数密度	総BA	下枝本数、食痕数、率		小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)	
	59 /200 m ²	43.4 m ² /ha	25 /200 m ² 食痕:9 21%		26 /200 m ²	1/45 2%(0%)	
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率	林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率	現存量 m ³ /m ² [全体・忌避種・可食種]	
	5 /200 m ²	—/5 0%		27	38%・94・0%	0.434・0.072(36.0)・0.002	

※稚樹は樹高 30cm 以上のもののみ集計。林床現存量の忌避種の()内は忌避種/可食種の比率。

毎木調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	総BA (cm ²)	下枝あり(本)	樹皮剥(本)
シラカンバ	3	2,223	1	
イタヤカエデ	9	1,246	3	
トドマツ	9	1,215	6	
ハルニレ	1	968		
エゾマツ	2	842	1	
全体	59	8,686	32	1

※BAは胸高直径断面積の総和

稚樹調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	食痕あり(本)
ヤマグワ	5	
シラカンバ	3	
キタコブシ	1	
全体	9	

林床植生調査結果-主な植物

種名	方形区数	現存量 (? /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
クマイザサ	20	0.360	38%	93.9	0
オクノカンスゲ	8	0.038	14%	27.0	0
トドマツ	1	0.013	2%	86.0	0
オシダ	4	0.009	3%	30.5	0
サップロスゲ	3	0.003	1%	30.0	0

※現存量は被度と高さの積として算出



むかわ地区北東部の針広混交林に設定している。シラカバが優占し、イタヤカエデやトドマツなどが混生する。直近の SPUE は 3.0 と中程度である。下枝がある立木は 25 本あるが(針葉樹等を除く)、2 割程度に食痕が確認されている。一部の立木に樹皮剥ぎが観察される。

稚樹はヤマグワなど 9 本 (1 区当たりでは 5 本) が生育しているが、食痕は確認されていない。林床はクマイザサが優占するが、ややまばらで、シカの食痕は観察されていない。その他の植物としてはオクノカンスゲが多く、トドマツやオシダが生育する。

KM-12 の結果概要 地区名：KS3 鷲川 2109 林班は小班 7月11日調査実施

林相	地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
広葉樹林	斜面	南	2	2	2010年 6.9	累積 3.2	シカ道
毎木	本数密度	総BA	下枝本数、食痕数、率		小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)	
	35 /200 m ²	38.2 m ² /ha	11 /200 m ² 食痕:5 13%		7 /200 m ²	4/68 6%(0%)	
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率	林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率	現存量 m ³ /m ² [全体・忌避種・可食種]	
	2 /200 m ²	2/2 67%		33	58%・70・ 0%	0.419・0.01 (1.7)・0.006	

※稚樹は樹高 30cm 以上のもののみ集計。林床現存量の忌避種の()内は忌避種/可食種の比率。

毎木調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	総BA (cm ²)	下枝あり(本)	樹皮剥(本)
ウダイカンバ	4	4,573		
アサダ	6	2,594		
ハクウンボク	19	1,957	6	
ミズナラ	4	1,496	1	1
サワシバ	4	1,010	1	
全体	70	15,296	21	4

※BAは胸高直径断面積の総和

稚樹調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	食痕あり(本)
ハクウンボク	2	2
キタコブシ	1	
全体	3	2

林床植生調査結果-主な植物

種名	方形区数	現存量 (? /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
クマイザサ	20	0.403	58%	70.1	0
サップロスゲ	6	0.003	1%	24.8	0
フッキソウ	11	0.002	1%	18.7	0
コンロンソウ	15	0.002	1%	23.8	0
ハクウンボク	1	0.002	0%	66.0	1

※現存量は被度と高さの積として算出



むかわ地区北東部の落葉広葉樹林に設定している。ウダイカンバが優占し、アサダやハクウンボクなどが混生する。直近の SPUE は 6.9 と非常に高く、増加傾向である。下枝がある立木は 21 本あるが (1 区当たりでは 11 本)、1 割程度に食痕が確認されている。一部の立木に樹皮剥ぎが観察される。

稚樹はハクウンボクとキタコブシの 3 本のみ (1 区当たりでは 2 本) が生育し、ハクウンボクに食痕が確認された。林床はクマイザサが優占するが、まばらな場所もあり、シカの食痕は観察されていない。その他の植物はあまり多くないが、サップロスゲ、フッキソウなどが生育する。

KM-13の結果概要 地区名:KS3 鶴川 2141 林班い03 小班 7月10日調査実施

林相	地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
広葉樹林	斜面	北	1	1	2010年 6.9	累積 3.2	シカ道
毎木	本数密度	総BA	下枝本数、食痕数、率		小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)	
	71 /200 m ²	45.9 m ² /ha	44 /200 m ² 食痕:5 11%		49 /200 m ²	18/72 25%(0%)	
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率	林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率	現存量 m ³ /m ² [全体・忌避種・可食種]	
	51 /200 m ²	4/51 8%		18	75%・99・0%	0.767・0.01 (0.6)・0.018	

※稚樹は樹高 30cm 以上のもののみ集計。林床現存量の忌避種の()内は忌避種/可食種の比率。

毎木調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	総BA (cm ²)	下枝あり(本)	樹皮剥(本)
アサダ	11	2,184	7	
シナノキ	10	1,630	4	4
イタヤカエデ	3	1,598		
サワシバ	2	1,168		
キタゴブシ	1	797		
全体	71	9,175	44	18

※BAは胸高直径断面積の総和

稚樹調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	食痕あり(本)
シウリザクラ	42	29
ハシドイ	4	4
ミツデカエデ	3	2
ヤマモミジ	2	2
全体	51	37

林床植生調査結果-主な植物

種名	方形区数	現存量 (? /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
クマイザサ	20	0.739	75%	99.2	0
シウリザクラ	4	0.017	2%	97.0	2
オシダ	4	0.004	1%	39.3	0
ジュウモンジシダ	3	0.003	1%	34.7	0
オクノカンスゲ	9	0.002	1%	22.7	0

※現存量は被度と高さの積として算出



むかわ地区北東部の落葉広葉樹林に設定している。アサダが優占し、シナノキやイタヤカエデなどが混生する。直近の SPUE は 6.9 と非常に高く、増加傾向である。下枝がある立木は 44 本あり、1 割程度に食痕が確認されている。シナノキなど一部の立木に樹皮剥ぎが観察される。

稚樹はシウリザクラを中心に 51 本が生育し、3 分の 2 以上に食痕が確認された。林床はクマイザサが密生し、シカの食痕は観察されていない。その他の植物はあまり多くないが、シウリザクラやオシダなどが生育する。

KM-14 の結果概要 地区名: KS3 鷲川 2062 林班い O2 小班 7月10日調査実施

林相	地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
広葉樹林	緩斜面	南西	1	2	2010年 6.4	累積 4.1	なし
毎木	本数密度	総BA	下枝本数、食痕数、率		小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)	
	47 /200 m ²	62.0 m ² /ha	26 /200 m ² 食痕:8 13%		25 /200 m ²	5/48 8%(0%)	
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率		林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率	現存量 m ³ /m ² [全体・忌避種・可食種]
	9 /200 m ²	4/9 24%			18	73%・101・10%	0.769・0.002(0.1)・0.038

※稚樹は樹高 30cm 以上のもののみ集計。林床現存量の忌避種の()内は忌避種/可食種の比率。

毎木調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	総BA (cm ²)	下枝あり(本)	樹皮剥(本)
トドマツ	5	3,194	1	1
ミズナラ	2	2,224		
ハルニレ	1	1,555		
アサダ	2	1,156		
キタコブシ	9	1,124	7	
全体	47	12,394	27	5

※BAは胸高直径断面積の総和

稚樹調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	食痕あり(本)
キタコブシ	10	5
アオダモ	5	
イタヤカエデ	1	1
ナナカマド	1	1
全体	17	7

林床植生調査結果-主な植物

種名	方形区数	現存量 (? /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
クマイザサ	20	0.729	73%	100.5	2
アキタブキ	1	0.029	3%	115.0	0
キタコブシ	4	0.007	2%	45.8	1
ヤマドリゼンマイ	2	0.002	1%	45.0	0
ユキザサ	1	0.001	0%	34.0	0

※現存量は被度と高さの積として算出



むかわ地区北東部の落葉広葉樹林に設定している。トドマツが優占し、ミズナラやハルニレなどが混生する。直近の SPUE は 6.4 と非常に高く、増加傾向である。下枝がある立木は 26 本あるが (トドマツを除く)、1 割程度に食痕が確認されている。一部の立木に樹皮剥ぎまたは角とぎが観察される。

稚樹はキタコブシなど 17 本 (1 区当たりでは 9 本) が生育し、キタコブシなど約 4 割に食痕が確認された。林床はクマイザサが密生するが、ややまばらな場所もあり、シカの食痕はわずかに観察される。その他の植物としては、アキタブキやキタコブシなどが生育する。写真はヤマブドウでエゾシカの食痕が確認できる。

T-O1 の結果概要 地区名: TW1 芽室 31 林班に小班 6月11日調査実施

林相		地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
広葉樹林		斜面中部	北	1	2	2010年 4.2	累積 2.8	シカ道
毎木	本数密度	総BA	下枝本数、食痕数、率		小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)		
	48 /200 m ²	24.7 m ² /ha	39 /200 m ² 食痕:10 26%		28 /200 m ²	23/51 45%(0%)		
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率	林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率	現存量 m ³ /m ² [全体・忌避種・可食種]		
	10 /200 m ²	-/10 0%		36	39%・60・95%	0.402・0.139(5.1)・0.027		

※稚樹は樹高 30cm 以上のもののみ集計。林床現存量の忌避種の()内は忌避種/可食種の比率。

毎木調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	総BA (cm ²)	下枝あり(本)	樹皮剥(本)
キハダ	2	1,383		
シラカンバ	1	1,286		
シナノキ	8	1,038	7	4
アズキナシ	1	362		
イタヤカエデ	4	325	3	
全体	48	4,932	39	23

※BAは胸高直径断面積の総和



稚樹調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	食痕あり(本)
アオダモ	8	1
シナノキ	5	3
サワシバ	3	1
ホオノキ	2	
全体	20	5

林床植生調査結果-主な植物

種名	方形区数	現存量 (? /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
クマイザサ	20	0.236	39%	59.9	19
サップロスゲ	15	0.066	16%	40.4	3
フッキソウ	15	0.022	13%	17.3	0
ゴンゲンスゲ	4	0.018	10%	17.8	0
エゾオオサクラソウ	7	0.011	6%	18.3	0

※現存量は被度と高さの積として算出

清水町の尾根に近い落葉広葉樹の二次林に設定している。キハダ、シナノキやイタヤカエデなど優占する。直近の SPUE は 4.2 と高く、増加傾向である。下枝がある立木は 39 本あるが (トドマツを除く)、新規の食痕は 26%、古い食痕も含めると約 6 割が確認されている。樹皮剥ぎまたは角とぎも 4 割以上で観察される。

稚樹はアオダモやシナノキなど 20 本 (1 区当たりでは 10 本) が生育し、シナノキなど 25% に食痕が確認された。林床はクマイザサが優占する。密度は高くないものの、シカの食痕はかなり高い。その他の植物としては、サップロスゲやフッキソウなどが生育する。

T-O2の結果概要 地区名：TW1 芽室 40林班ひ小班 6月12日調査実施

林相		地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度(SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
広葉樹林		斜面上部	南西	1	2	2010年 2.4	累積 1.5	なし
毎木	本数密度	総BA	下枝本数、食痕数、率		小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)		
	46 /200 m ²	40.4 m ² /ha	32 /200 m ² 食痕:5 16%		21 /200 m ²	10/51 20%(0%)		
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率		林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率	現存量 m ³ /m ² [全体・忌避種・可食種]	
	2 /200 m ²	1/2 25%			10	93%・95・ 20%	0.886・0.001 (0.3)・0.004	

※稚樹は樹高30cm以上のもののみ集計。林床現存量の忌避種の()内は忌避種/可食種の比率。

毎木調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	総BA (cm ²)	下枝あり(本)	樹皮剥(本)
ミズナラ	15	5,601	12	2
ウダイカンバ	3	1,206		
ケヤマハンノキ	1	643	1	
アオダモ	20	410	13	8
ダケカンバ	2	180	1	
全体	46	8,077	32	10

※BAは胸高直径断面積の総和

稚樹調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	食痕あり(本)
ハウチワカエデ	2	
アオダモ	1	
ミズナラ	1	1
全体	4	1

林床植生調査結果-主な植物

種名	方形区数	現存量 (? /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
クマイザサ	20	0.881	93%	95.0	4
ウスノキ	2	0.002	1%	19.5	1
マイヅルソウ	4	0.002	2%	7.8	0
ゴンゲンスゲ	3	0.001	1%	22.7	0
ハウチワカエデ	2	0.000	0%	29.5	1

※現存量は被度と高さの積として算出



清水町の尾根に近い落葉広葉樹の二次林に設定している。高木層はミズナラが優占し、亜高木層はアオダモが優占する。直近のSPUEは2.4と低い。しかし、下枝がある立木は32本あるが、新規の食痕は16%、古い食痕も含めると6割が確認され比較的高い。樹皮剥ぎまたは角とぎも2割で観察される。

稚樹はハウチワカエデやアオダモなど4本(1区当たりでは2本)と少なく、食痕は25%で確認された。林床はクマイザサが93%と密生し、シカの食痕は20%で確認される。その他の植物としては、ウスノキやマイヅルソウなどが生育する。

T-03の結果概要 地区名: TW1 芽室 274 林班ぬ小班 6月12日調査実施

林相	地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
広葉樹林	斜面中部	北東	1	2	2010年 6.9	累積 5.7	なし
毎木	本数密度	総BA	下枝本数、食痕数、率		小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)	
	75 /200 m ²	67.7 m ² /ha	42 /200 m ² 食痕: - 0%		38 /200 m ²	- /75 0%(0%)	
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率	林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率	現存量 m ³ /m ² [全体・忌避種・可食種]	
	0 /200 m ²	- /0 -%		12	80%・122・0%	1.023・0.036(2.4)・0.015	

※稚樹は樹高 30cm 以上のもののみ集計。林床現存量の忌避種の()内は忌避種/可食種の比率。

毎木調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	総BA (cm ²)	下枝あり(本)	樹皮剥(本)
アカイタヤ	3	6,006		
ハウチワカエデ	16	1,565	6	
ケヤマハンノキ	2	1,355	2	
ミズナラ	1	1,022		
シウリザクラ	5	685	2	
全体	75	13,535	44	

※BAは胸高直径断面積の総和



稚樹調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	食痕あり(本)
(稚樹なし)		

(稚樹なし)

林床植生調査結果-主な植物

種名	方形区数	現存量 (? /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
クマイザサ	20	0.972	80%	122.3	0
フッキソウ	19	0.026	14%	18.2	0
ノリウツギ	1	0.014	1%	136.0	0
ツルシキミ	8	0.008	4%	21.3	0
トドマツ	1	0.002	1%	45.0	0

※現存量は被度と高さの積として算出

芽室町の尾根に近い落葉広葉樹の二次林に設定している。高木層はアカイタヤが優占し、亜高木層はハウチワカエデが優占する。直近の SPUE は 6.9 と非常に高い。下枝がある立木は 44 本あるが、新規の食痕はなく、古い食痕も含めると 26%が確認された。樹皮剥ぎまたは角とぎは観察されなかった。

稚樹は林床にクマイザサが密生していることもあり、確認されなかった。クマイザサは高さ 120cm 以上あり、シカの食痕は確認されていない。その他の植物としては、フッキソウやノリウツギが生育する。

T-04 の結果概要 地区名：TW1 芽室 280 林班こ O1 小班 6 月 13 日調査実施

林相		地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
広葉樹林		斜面下部	北東	1	2	2010 年 2	累積 1.9	なし
毎木	本数密度	総 BA	下枝本数、食痕数、率		小径木 5cm 未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率 (新規)		
	63 /200 m ²	53.1 m ² /ha	41 /200 m ² 食痕:5 9%		13 /200 m ²	12/70 17%(0%)		
稚樹	本数密度	食痕数 (新規)、食痕率		林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率		現存量 m ³ /m ² [全体・忌避種・可食種]
	3 /200 m ²	- /3 0%			30	23%・100・13%		0.981・0.225 (0.4)・0.525

※稚樹は樹高 30cm 以上のもののみ集計。林床現存量の忌避種の () 内は忌避種/可食種の比率。

毎木調査結果-主な樹種

種名	本数 (本)	総BA (cm ²)	下枝あり (本)	樹皮剥(本)
オヒョウ	35	5,842	28	7
オニグルミ	2	1,778		
シウリザクラ	9	830	6	1
ホオノキ	5	763	1	
ヤマグワ	5	535	2	1
全体	63	10,618	41	12

※BAは胸高直径断面積の総和

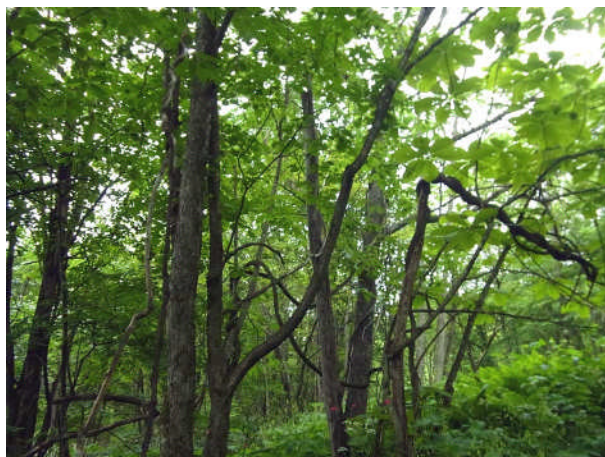
稚樹調査結果-主な樹種

種名	本数 (本)	食痕あり(本)
イタヤカエデ	2	1
オヒョウ	2	2
ホオノキ	1	
ミズキ	1	
全体	6	3

林床植生調査結果-主な植物

種名	方形区数	現存量 (? /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
クマイザサ	8	0.231	23%	100.3	1
オオレイジンソウ	13	0.196	22%	90.5	0
オオハナウド	8	0.177	20%	90.6	0
オンダ	9	0.145	19%	78.2	0
オオウバユリ	11	0.048	11%	45.3	0

※現存量は被度と高さの積として算出



芽室町の沢に近い落葉広葉樹の二次林に設定している。オヒョウ、オニグルミ、シウリザクラなどが優占する。直近の SPUE は 2.0 と低い。しかし、下枝がある立木は 41 本あるが、新規の食痕は 1 割ほどだが、古い食痕も含めると 6 割が確認され比較的高い。樹皮剥ぎまたは角とぎも 2 割弱で観察される。

稚樹はイタヤカエデやオヒョウなど 6 本 (1 区当たりでは 3 本) と少ないが、古い食痕も含めて半分で食痕が確認された。林床はクマイザサの被度が 23% と比較的少なく、シカの食痕は 13% で確認される。その他の植物としては、オオレイジンソウ、オオハナウド、オンダやオオウバユリなどが生育する。

T-05の結果概要 地区名：TW2 札内 309 林班ぬ小班 6月13日調査実施

林相	地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
広葉樹林	平坦	なし	1	1	2010年 5.2	累積 7.3	なし
毎木	本数密度	総BA	下枝本数、食痕数、率		小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)	
	122 /200 m ²	48.0 m ² /ha	53 /200 m ² 食痕:4 8%		83 /200 m ²	6/118 4%(0%)	
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率	林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率	現存量 m ³ /m ² [全体・忌避種・可食種]	
	49 /200 m ²	2/49 4%		44	—%・—%・—%	0.486・0.304(1.7)・0.182	

※稚樹は樹高30cm以上のもののみ集計。林床現存量の忌避種の()内は忌避種/可食種の比率。

毎木調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	総BA (cm ²)	下枝あり(本)	樹皮剥(本)
オオバヤナギ	3	4,279		
ドロノキ	4	1,923		
ケヤマハンノキ	6	1,788	4	
アオダモ	60	572	30	4
ヤマモミジ	13	295	7	1
全体	122	9,600	60	6

※BAは胸高直径断面積の総和



稚樹調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	食痕あり(本)
アオダモ	15	4
ハウチワカエデ	9	
ヤマモミジ	8	7
イタヤカエデ	5	3
ヤチダモ	5	
全体	49	18

林床植生調査結果-主な植物

種名	方形区数	現存量 (? /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
クサソテツ	8	0.152	23%	66.1	0
サップロスゲ	12	0.062	15%	41.1	5
トドマツ	2	0.040	5%	89.0	0
オオイタドリ	4	0.033	4%	81.8	0
エゾトリカブト	9	0.029	5%	57.4	0

※現存量は被度と高さの積として算出

帯広市の落葉広葉樹の二次林に設定している。オオバヤナギやドロノキの優占する高木ヤナギ倫で、亜高木層にはアオダモが多い。直近の SPUE は 5.2 と高く、累積の SPUE も 7.3 と以前から高い。I 下枝がある立木は 60 本あるが (トドマツを除く)、新規の食痕は少なく、古い食痕も含めると 2 割ほどで確認されている。樹皮剥ぎまたは角とぎもほとんどない。

稚樹はアオダモやハウチワカエデなど 49 本が生育し、旧食痕も含めてアオダモなど 4 割近くで食痕が確認された。林床はササ類を欠いており、クサソテツやサップロスゲなどが生育する。

T-06の結果概要 地区名：TW2 札内 312 林班ろ01 小班 6月15日調査実施

林相	地形		方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
広葉樹林	斜面中部		北東	1	2	2010年 2.5	累積 3.7	なし
毎木	本数密度	総BA	下枝本数、食痕数、率		小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)		
	99 /200 m ²	36.8 m ² /ha	44 /200 m ² 食痕:4 11%		42 /200 m ²	4/123 3%(0%)		
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率		林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率		現存量 m ³ /m ² [全体・忌避種・可食種]
	2 /200 m ²	- /2 0%			4	84%・120・20%		1.019・0.008(80.0)・0.000

※稚樹は樹高 30cm 以上のもののみ集計。林床現存量の忌避種の()内は忌避種/可食種の比率。

毎木調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	総BA (cm ²)	下枝あり(本)	樹皮剥(本)
ヤチダモ	10	1,592	1	
シナノキ	14	1,302	5	
キハダ	6	1,254	2	1
ミズナラ	4	1,239		
アオダモ	30	533	17	2
全体	99	7,350	44	4

※BAは胸高直径断面積の総和

稚樹調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	食痕あり(本)
アオダモ	4	
全体	4	

林床植生調査結果-主な植物

種名	方形区数	現存量 (? /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
クマイザサ	20	1.011	84%	120.1	4
フッキソウ	18	0.008	4%	19.8	0
アオダモ	1	0.000	0%	32.0	0
ツルシキミ	1	0.000	0%	21.0	0

※現存量は被度と高さの積として算出



帯広市の尾根に近い落葉広葉樹の二次林に設定している。高木層はヤチダモやシナノキが優占し、亜高木層はアオダモが優占する。直近の SPUE は 2.5 と低い。下枝がある立木は 44 本あるが、新規の食痕約 1 割、古い食痕も含めると約 3 割が確認されている。樹皮剥ぎまたは角とぎも少ない。稚樹はアオダモが 4 本 (1 区当たりでは 2 本) と少なく、食痕は確認されていない。林床はクマイザサが 84% と密生し、高さも 120cm と高い。シカの食痕は 20% で確認される。その他の植物としては、フッキソウなどが生育する。

T-O7の結果概要 地区名: TW2 札内 344 林班わ小班 6月14日調査実施

林相	地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
広葉樹林	斜面下部	南東	1	1	2010年 4.5	累積 3.2	シカ道・糞
毎木	本数密度	総BA	下枝本数、食痕数、率		小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)	
	46 /200 m ²	34.5 m ² /ha	32 /200 m ² 食痕:15 44%		21 /200 m ²	18/58 31%(0%)	
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率	林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率	現存量 m ³ /m ² [全体・忌避種・可食種]	
	27 /200 m ²	10/27 37%		20	—%・—%・—%	0.473・0.284(1.5)・0.189	

※稚樹は樹高 30cm 以上のもののみ集計。林床現存量の忌避種の()内は忌避種/可食種の比率。

毎木調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	総BA (cm ²)	下枝あり(本)	樹皮剥(本)
ハルニレ	1	2,305		
オヒョウ	7	1,514	3	1
ヤチダモ	1	925		
シウリザクラ	10	907	7	5
キハダ	1	362		
全体	46	6,896	32	18

※BAは胸高直径断面積の総和

稚樹調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	食痕あり(本)
シウリザクラ	17	7
ハシドイ	6	4
オオバボダイジュ	2	
アオダモ	1	1
サワシバ	1	
全体	27	12

林床植生調査結果-主な植物

種名	方形区数	現存量 (? /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
トクサ	20	0.187	44%	42.5	0
コンロンソウ	16	0.133	29%	45.8	0
エゾイラクサ	5	0.071	10%	70.8	0
シウリザクラ	7	0.031	6%	55.7	5
オシダ	2	0.015	3%	51.0	0

※現存量は被度と高さの積として算出



中札内村の川に近い落葉広葉樹の二次林に設定している。高木層はハルニレ、オヒョウ、ヤチダモが優占し、亜高木層はシウリザクラが優占する。直近の SPUE は 4.5 と比較的高い。下枝がある立木は 46 本あるが、新規の食痕は 4 割以上、古い食痕も含めると約 8 割に食痕が見られ、痕跡は多い。樹皮剥ぎまたは角とぎも約 3 割で観察される。シカ道が見られ、糞も多く、越冬地として利用していると思われる。

稚樹はシウリザクラを中心に 27 本あり、4 割近くで食痕は確認されている。林床はササ類を欠いており、トクサやコンロンソウなどが優占する。

T-08 の結果概要 地区名：TW2 札内 375 林班た小班 6月14日調査実施

林相		地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
広葉樹林		斜面下部	北	1	2	2010年 5.7	累積 5.3	シカ道・足跡
毎木	本数密度	総BA	下枝本数、食痕数、率		小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)		
	73 /200 m ²	35.9 m ² /ha	52 /200 m ² 食痕:10 19%		50 /200 m ²	3/76 4%(1%)		
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率		林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率	現存量 m ³ /m ² [全体・忌避種・可食種]	
	16 /200 m ²	7/16 23%			33	-%・-・-%	0.473・0.29(1.6)・0.183	

※稚樹は樹高 30cm 以上のもののみ集計。林床現存量の忌避種の()内は忌避種/可食種の比率。

毎木調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	総BA (cm ²)	下枝あり(本)	樹皮剥(本)
オヒョウ	9	3,583	5	2
アカイタヤ	1	1,964		
ケヤマハンノキ	2	549	2	
オオバボダイジュ	14	413	10	
シウリザクラ	9	233	9	
全体	73	7,177	52	3

※BAは胸高直径断面積の総和

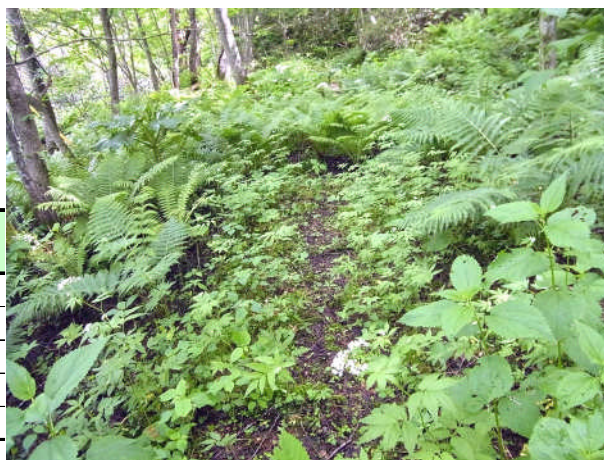
稚樹調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	食痕あり(本)
シウリザクラ	15	7
アオダモ	10	4
オオバボダイジュ	4	4
サワシバ	2	
全体	31	15

林床植生調査結果-主な植物

種名	方形区数	現存量 (? /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
オシダ	5	0.104	15%	69.6	0
コンロンソウ	6	0.047	8%	59.0	0
オオウバユリ	10	0.045	11%	41.2	0
オオメシダ	6	0.045	10%	47.7	0
ミヤマシケシダ	13	0.039	15%	26.7	0

※現存量は被度と高さの積として算出



中札内村の落葉広葉樹の二次林に設定している。高木層はオヒョウやオオバボダイジュが優占し、亜高木層にはシウリザクラが多い。直近の SPUE は 5.7 と高い。下枝がある立木は 52 本あるが、新規の食痕は約 2 割、古い食痕も含めると 3 分の 1 が確認されている。樹皮剥ぎまたは角とぎは、少ない。

稚樹はシウリザクラやアオダモなど 31 本が生育し、旧食痕も含めて約半分で食痕が確認された。林床はササ類を欠いており、オシダやコンロンソウなどが生育する。林内にはシカ道が見られ、よく利用されていると思われる。

T-09の結果概要 地区名: TW3 大樹 2036 林班り O1 小班 6月8日調査実施

林相	地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
広葉樹林	斜面下部	南東	1	1	2010年 4.7	累積 4.1	シカ道
毎木	本数密度	総BA	下枝本数、食痕数、率		小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)	
	46 /200 m ²	20.8 m ² /ha	30 /200 m ² 食痕:3 10%		24 /200 m ²	3/51 6%(0%)	
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率	林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率	現存量 m ³ /m ² [全体・忌避種・可食種]	
	30 /200 m ²	1/30 3%				35	44%・72・82%

※稚樹は樹高 30cm 以上のもののみ集計。林床現存量の忌避種の()内は忌避種/可食種の比率。

毎木調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	総BA (cm ²)	下枝あり(本)	樹皮剥(本)
ヤチダモ	4	1,372		
オニグルミ	2	868		1
シウリザクラ	5	641	4	1
ハシドイ	19	396	14	
イタヤカエデ	7	293	5	
全体	46	4,152	30	3

※BAは胸高直径断面積の総和

稚樹調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	食痕あり(本)
ハシドイ	22	15
ヤチダモ	3	3
シウリザクラ	2	2
ヤマモミジ	2	2
アオダモ	1	1
全体	30	23

林床植生調査結果-主な植物

種名	方形区数	現存量 (? /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
クマイザサ	17	0.311	44%	71.6	14
オシダ	4	0.089	12%	77.8	0
ミツバウツギ	6	0.071	10%	74.8	6
ハシドイ	2	0.028	2%	141.5	0
フッキソウ	13	0.019	12%	16.5	0

※現存量は被度と高さの積として算出



大樹町の沢沿いの落葉広葉樹二次林に設定している。高木層はヤチダモやオニグルミが優占し、亜高木層にはハシドイが多い。直近の SPUE は 4.7 と比較的高い。下枝がある立木は 30 本あるが、新規の食痕は約 1 割、古い食痕も含めると約半分が確認されている。樹皮剥ぎまたは角とぎは、少ない。

稚樹はハシドイなど 30 本が生育し、旧食痕も含めて約 8 割で食痕が確認された。林床はクマイザサが 4 割を占めており、食痕率は 8 割を超える。その他の植物としては、オシダやミツバウツギなどが生育する。林内にはシカ道が見られ、よく利用されていると思われる。

T-10の結果概要 地区名: TW3大樹 2081林班やO1小班 6月7日調査実施

林相		地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
広葉樹林		平坦	なし	1	2	2010年 2.5	累積 3.5	なし
毎木	本数密度	総BA	下枝本数、食痕数、率		小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)		
	63 /200 m ²	61.2 m ² /ha	23 /200 m ² 食痕:- 0%		21 /200 m ²	- /59 0%(0%)		
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率		林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率		現存量 m ³ /m ² [全体・忌避種・可食種]
	9 /200 m ²	- /9 0%			18	82%・77・35%		0.660・0.014(1.1)・0.013

※稚樹は樹高 30cm 以上のもののみ集計。林床現存量の忌避種の()内は忌避種/可食種の比率。

毎木調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	総BA (cm ²)	下枝あり(本)	樹皮剥(本)
ミズナラ	13	5,099	6	
シラカンバ	12	2,737	1	
ホオノキ	10	1,411	2	
イヌエンジュ	4	1,066		
シナノキ	3	891		
全体	63	12,232	23	

※BAは胸高直径断面積の総和

稚樹調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	食痕あり(本)
イタヤカエデ	4	
ハウチワカエデ	4	
ホオノキ	4	
オオバボダイジュ	3	3
エゾヤマザクラ	1	
サワシバ	1	
ミズナラ	1	
全体	18	3



林床植生調査結果-主な植物

種名	方形区数	現存量 (? /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
クマイザサ	20	0.633	82%	76.9	7
ノリウツギ	1	0.012	1%	122.0	0
ツタウルシ	13	0.011	6%	20.1	0
スゲsp.	9	0.003	1%	29.2	0
イワガラミ	2	0.001	1%	13.5	0

※現存量は被度と高さの積として算出

大樹町の沢沿いの落葉広葉樹二次林に設定している。高木層はミズナラ、シラカバが優占し、亜高木層にはハシドイが多い。直近の SPUE は 2.5 と低い。下枝がある立木は 23 本あるが、新規の食痕はなく、古い食痕も含めても 1 割程度である。樹皮剥ぎまたは角とぎも見られない。

稚樹はカエデ類やホオノキなど 18 本が生育し、旧食痕も含めてオオバボダイジュのみ食痕が確認された。林床はクマイササが 8 割以上を占めて密生しており、食痕率は 35% である。その他の植物としては、ノリウツギやツタウルシなどが生育する。

T-11 の結果概要 地区名: TW3 大樹 2122 林班や小班 6月7日調査実施

林相	地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
広葉樹林	斜面下部	北西	1	1	2010年 3.3	累積 3.7	なし
毎木	本数密度	総BA	下枝本数、食痕数、率		小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)	
	50 /200 m ²	29.3 m ² /ha	29 /200 m ² 食痕: - 0%		18 /200 m ²	1/52 2%(0%)	
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率	林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率	現存量 m ³ /m ² [全体・忌避種・可食種]	
	47 /200 m ²	- /47 0%		43	32%・68・ 50%	0.456・0.154(1.8)・0.086	

※稚樹は樹高 30cm 以上のもののみ集計。林床現存量の忌避種の()内は忌避種/可食種の比率。

毎木調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	総BA (cm ²)	下枝あり(本)	樹皮剥(本)
イタヤカエデ	6	1,210	4	
サワシバ	10	1,172	6	
ヤチダモ	2	722		
オヒョウ	4	603	2	
ケヤマハンノキ	1	543	1	
全体	50	5,852	29	1

※BAは胸高直径断面積の総和

稚樹調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	食痕あり(本)
サワシバ	11	
アオダモ	7	1
オヒョウ	5	3
シナノキ	5	5
ハシドイ	4	1
ヤマウルシ	4	
全体	47	11

林床植生調査結果-主な植物

種名	方形区数	現存量 (? /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
クマイザサ	16	0.216	32%	68.4	8
トクサ	11	0.053	10%	54.0	0
オシダ	5	0.043	8%	56.8	0
ハシドイ	3	0.027	4%	74.7	1
フッキソウ	18	0.024	13%	19.0	0

※現存量は被度と高さの積として算出



大樹町の沢沿いの落葉広葉樹二次林に設定している。高木層はイタヤカエデが優占し、亜高木層にはサワシバが多い。直近の SPUE は 3.3 である。下枝がある立木は 29 本あり、新規の食痕はないが、古い食痕は約半分で確認されている。樹皮剥ぎまたは角とぎはほとんど見られない。

稚樹はサワシバやアオダモなど 47 本が生育し、旧食痕も含めて約 4 分の 1 で、食痕が確認された。林床はクマイササが 3 割を占めており、食痕率は 50% である。その他の植物としては、トクサやオシダが生育する。

T-12の結果概要 地区名：TW3大樹 2131林班な小班 6月6日調査実施

林相	地形		方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
広葉樹林	斜面下部		南	1	2	2010年 5	累積 3.6	なし
毎木	本数密度	総BA	下枝本数、食痕数、率		小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)		
	48 /200 m ²	20.3 m ² /ha	33 /200 m ² 食痕:- 0%		23 /200 m ²	2/52 4%(0%)		
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率		林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率		現存量 m ³ /m ² [全体・忌避種・可食種]
	6 /200 m ²	- /6 0%			30	3%・34・-%		0.431・0.146(0.5)・0.277

※稚樹は樹高 30cm 以上のもののみ集計。林床現存量の忌避種の()内は忌避種/可食種の比率。

毎木調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	総BA (cm ²)	下枝あり(本)	樹皮剥(本)
カツラ	4	1,392		
ヤマモミジ	5	714		
ケヤマハンノキ	2	618	2	
サワシバ	29	612	26	
オヒョウ	3	324	2	2
全体	48	4,061	33	2

※BAは胸高直径断面積の総和

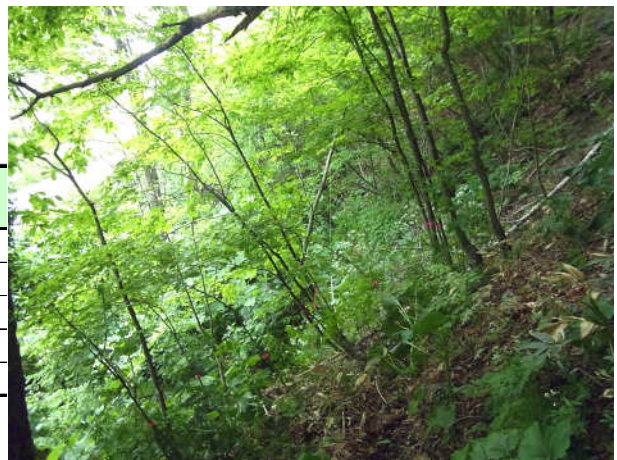
稚樹調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	食痕あり(本)
サワシバ	8	
オヒョウ	2	2
イタヤカエデ	1	
全体	11	2

林床植生調査結果-主な植物

種名	方形区数	現存量 (? /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
シャク	11	0.134	15%	87.9	0
エゾトリカブト	6	0.127	11%	120.5	0
オオウバユリ	8	0.045	9%	52.9	0
オオハナウド	2	0.023	4%	66.0	0
コンロンソウ	15	0.022	6%	35.5	0

※現存量は被度と高さの積として算出



大樹町の沢沿いに面した斜面の落葉広葉樹二次林に設定している。高木層はカツラやヤマモミジが優占し、亜高木層にはサワシバが多い。直近の SPUE は 5 と比較的高い。下枝がある立木は 33 本あり、新規の食痕はないが、古い食痕は約半分で確認されている。樹皮剥ぎまたは角とぎはほとんど見られない。

稚樹はサワシバなど 11 本が生育し、旧食痕も含めてオヒョウでのみ、食痕が確認された。林床はクマイザサがわずかにある程度である。その他の植物としては、シャクやエゾトリカブトが生育する。

T-13の結果概要 地区名：TW3 広尾 1009 林班お小班 6月6日調査実施

林相	地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
広葉樹林	斜面中部	北	1	1	2010年 2.9	累積 3.7	なし
毎木	本数密度	総BA	下枝本数、食痕数、率		小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)	
	77 /200 m ²	39.4 m ² /ha	43 /200 m ² 食痕:2 5%		43 /200 m ²	47/101 47%(0%)	
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率	林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率	現存量 m ³ /m ² [全体・忌避種・可食種]	
	90 /200 m ²	-/90 0%		52	41%・109・100%	0.859・0.25(1.5)・0.163	

※稚樹は樹高 30cm 以上のもののみ集計。林床現存量の忌避種の()内は忌避種/可食種の比率。

毎木調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	総BA (cm ²)	下枝あり(本)	樹皮剥(本)
キハダ	5	2,101		
ウダイカンバ	7	1,702		
オノエヤナギ	4	1,508	3	
シナノキ	1	671		
カツラ	7	529	4	2
全体	77	7,872	43	27

※BAは胸高直径断面積の総和



稚樹調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	食痕あり(本)
アオダモ	68	48
シウリザクラ	10	1
ヤマモミジ	9	9
イタヤカエデ	1	1
カツラ	1	
ハシドイ	1	1
全体	90	60

林床植生調査結果-主な植物

種名	方形区数	現存量 (? /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
クマイザサ	12	0.446	41%	108.7	12
エゾトリカブト	6	0.087	9%	100.8	0
ホソイノデ	7	0.045	8%	58.1	0
ホザキナナカマド	10	0.044	8%	52.8	1
フッキソウ	15	0.036	24%	15.2	0

※現存量は被度と高さの積として算出

広尾町の沢沿いに面した斜面の落葉広葉樹二次林に設定している。高木層はキハダやウダイカンバが優占し、亜高木層にはアオダモが多い。直近の SPUE は 2.9 と低い。下枝がある立木は 43 本あり、新規の食痕はほとんどないが、古い食痕は約 4 割で確認されている。樹皮剥ぎまたは角とぎは約半分で見られる。

稚樹はアオダモなど 90 本が生育し、旧食痕も含めて 3 分の 2 で食痕が確認された。林床はクマイザサが 4 割ほど占めており、全てで痕跡が見られる。その他の植物としては、エゾトリカブトやホソイノデが生育する。

T-14の結果概要 地区名：TW3 広尾 1043 林班と小班 6月5日調査実施

林相		地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
広葉樹林		斜面中部	北	1	2	2010年 3.5	累積 4.3	なし
毎木	本数密度	総BA	下枝本数、食痕数、率		小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)		
	59 /200 m ²	28.3 m ² /ha	33 /200 m ² 食痕:- 0%		21 /200 m ²	8/62 13%(0%)		
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率		林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率	現存量 m ³ /m ² [全体・忌避種・可食種]	
	5 /200 m ²	- /5 0%			41	29%・66・70%	0.371・0.135(2.8)・0.048	

※稚樹は樹高 30cm 以上のもののみ集計。林床現存量の忌避種の()内は忌避種/可食種の比率。

毎木調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	総BA (cm ²)	下枝あり(本)	樹皮剥(本)
ウダイカンバ	8	2,447		
オノエヤナギ	4	1,415	1	
ヤマグワ	4	539		
シナノキ	8	315	7	
キハダ	4	260		
全体	59	5,651	33	8

※BAは胸高直径断面積の総和

稚樹調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	食痕あり(本)
サワシバ	4	1
イタヤカエデ	1	1
シナノキ	1	1
ハクウンボク	1	
ハシドイ	1	1
ホオノキ	1	1
ヤマモミジ	1	1
全体	10	6



林床植生調査結果-主な植物

種名	方形区数	現存量 (? /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
クマイザサ	10	0.188	29%	66.1	7
オシダ	2	0.051	7%	78.5	1
クサソテツ	5	0.024	6%	38.0	0
コンロンソウ	8	0.017	5%	36.8	0
ニリンソウ	15	0.016	10%	17.1	0

※現存量は被度と高さの積として算出

広尾町の沢沿いに面した斜面の落葉広葉樹二次林に設定している。高木層はウダイカンバが優占し、亜高木層にはシナノキが多い。直近の SPUE は 3.5 である。下枝がある立木は 59 本あり、新規の食痕はないが、古い食痕は半分近くで確認されている。樹皮剥ぎまたは角とぎは 1 割ほどで見られる。稚樹はアオダモなど 10 本が生育し(1 区当たりでは 5 本)、旧食痕も含めて 6 割で食痕が確認された。林床はクマイザサが 3 割ほど占めており、7 割で痕跡が見られる。その他の植物としては、オシダやクサソテツが生育する。

T-15の結果概要 地区名: TW3 広尾 1078 林班と小班 6月5日調査実施

林相	地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
広葉樹林	斜面下部	東	1	2	2010年 8.1	累積 3.9	なし
毎木	本数密度	総BA	下枝本数、食痕数、率		小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)	
	45 /200 m ²	30.7 m ² /ha	28 /200 m ² 食痕:7 23%		17 /200 m ²	16/52 31%(0%)	
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率	林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率	現存量 m ³ /m ² [全体・忌避種・可食種]	
	3 /200 m ²	-/3 0%		23	-%・-・-%	0.360・0.337(14.7)・0.023	

※稚樹は樹高 30cm 以上のもののみ集計。林床現存量の忌避種の()内は忌避種/可食種の比率。

毎木調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	総BA (cm ²)	下枝あり(本)	樹皮剥(本)
イタヤカエデ	4	2,075	3	
アカイタヤ	1	1,357		
ハシドイ	9	997	5	2
シナノキ	7	815	6	1
アオダモ	16	381	10	9
全体	45	6,134	28	12

※BAは胸高直径断面積の総和



稚樹調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	食痕あり(本)
サワシバ	3	3
アオダモ	1	1
キタコブシ	1	
全体	5	4

林床植生調査結果-主な植物

種名	方形区数	現存量 (? /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
ジュウモンジシダ	15	0.142	28%	51.0	0
オシダ	8	0.100	14%	71.5	1
オオメシダ	4	0.033	6%	52.0	0
クサソテツ	9	0.029	9%	33.6	0
フッキソウ	10	0.022	12%	18.1	0

※現存量は被度と高さの積として算出

広尾町の沢沿いに面した斜面の落葉広葉樹二次林に設定している。高木層はイタヤカエデが優占し、亜高木層にはハシドイが多い。直近の SPUE は 8.1 と極めて高い。下枝がある立木は 28 本あり、新規の食痕は 2 割程度で、古い食痕は 8 割近くで確認されている。樹皮剥ぎまたは角ときは 3 割ほどで見られる。

稚樹はアオダモなど 5 本が生育し (1 区当たりでは 3 本)、旧食痕も含めてキタコブシ以外は食痕が確認された。林床はクマイザサがなく、その他の植物としては、ジュウモンジシダやオシダが生育する。

T-16の結果概要 地区名：TW3 広尾 1114 林班へ小班 6月4日調査実施

林相		地形	方位	毎木区	稚樹区	シカ密度 (SPUE 頭/人日)		エゾシカの痕跡
広葉樹林		斜面下部	南東	1	2	2010年 6.2	累積 5.6	なし
毎木	本数密度	総BA	下枝本数、食痕数、率		小径木 5cm未満	樹皮剥ぎ本数、樹皮剥ぎ率(新規)		
	50 /200 m ²	41.7 m ² /ha	32 /200 m ² 食痕:2 5%		20 /200 m ²	11/53 21%(0%)		
稚樹	本数密度	食痕数(新規)、食痕率		林床	種数	ササ被度・高さ・食痕率		現存量 m ³ /m ² [全体・忌避種・可食種]
	9 /200 m ²	1/9 6%			44	45%・84・ 68%		0.500・0.066(1.2)・0.055

※稚樹は樹高 30cm 以上のもののみ集計。林床現存量の忌避種の()内は忌避種/可食種の比率。

毎木調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	総BA (cm ²)	下枝あり(本)	樹皮剥(本)
ヤチダモ	8	4,317	2	
シナノキ	8	1,553	6	
オノエヤナギ	3	871	1	
イタヤカエデ	4	383	1	
ハルニレ	2	318	2	1
全体	50	8,342	32	10

稚樹調査結果-主な樹種

種名	本数(本)	食痕あり(本)
ヤチダモ	7	7
アオダモ	5	1
ハシドイ	2	2
シナノキ	1	
ハウチワカエデ	1	1
ハルニレ	1	1
ヤマモミジ	1	1
全体	18	13



林床植生調査結果-主な植物

種名	方形区数	現存量 (? /m ²)	被度 (%)	平均高 (cm)	食痕区数
クマイザサ	19	0.379	45%	84.4	13
フッキソウ	17	0.026	14%	18.0	0
ジュウモンジシダ	6	0.013	4%	30.7	0
コマガタケスグリ	2	0.011	2%	56.0	0
バイケイソウ	1	0.009	1%	92.0	0

※現存量は被度と高さの積として算出

広尾町の沢沿いに面した斜面の落葉広葉樹二次林に設定している。高木層はヤチダモやシナノキが優占し、亜高木層にはヤチダモやアオダモが多い。直近の SPUE は 6.2 と高い。下枝がある立木は 32 本で、新規の食痕はほとんどなく、古い食痕では 1 割程度で確認されている。樹皮剥ぎまたは角とぎは 2 割ほどで見られる。

稚樹はアオダモなど 18 本が生育し (1 区当たりでは 9 本)、旧食痕も含めて 7 割近くで食痕が確認された。林床はクマイザサが 4 割ほど占めており、7 割で痕跡が見られる。その他の植物としては、フッキソウやジュウモンジシダが生育する。